

平成25年7月発行

生活デザイン設計室 株式会社 サンク

情報誌

くらしのスタジオ

<http://www.cinq-sd.co.jp>

今年の夏も猛暑だとか。今号の素敵な生き方では暑さに負けじと私たちの住んでいる地球の裏側グアテマラで子どもたちの就学支援をしている団体を紹介しています。

支援のための一日限定ショップと報告会も開きます。くらしのスタジオ通信が様々な人の出会いの場として広がりつつあることを嬉しく思っています。

東日本の大震災から2年が過ぎました。

再生へのあらたな一歩を踏み出されている被災地の皆さま、
まだまだ復興には長い年月がかかるかと思いますが、皆さまのご健勝を心よりお祈り申し上げます。
私たちはこの震災を風化させないよう努力していきたいと思っております。



2013
夏号(季刊)

創刊 Vol.7

特集

スツキリ片付く 秘伝の間取り

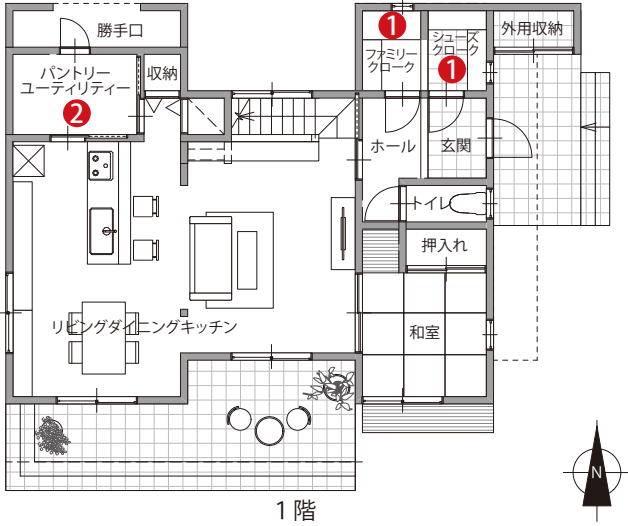
ここ数年収納に関するネタは話題にこと欠きません。断捨利ブームに始まり、100円グッズを自在に使うの隠れ技、収納アドバイザーというコンサルタントの活躍と収納は住まいの永遠の課題と言えそうです。私たちの依頼者の多くは女性の設計事務所だからと、女性目線で共感してくれそうと収納のアイデアに期待が高まります。そこで今回は、私たちの収納間取りプランを紹介しています。

こんなところに収納スペース

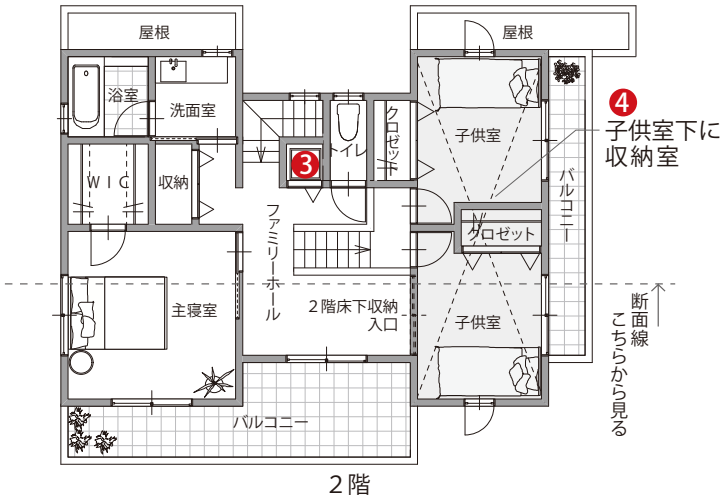
昔から日本の住宅には、飛騨高山の合掌作りのように隠れスペースがありました。

ロフトのような蚕棚、北海道の鯉御殿のような猟師の寄り合いスペース。そして玄関が中2階だったり、半地下だったり一見すると部屋があるとは思えないところに部屋がある。忍者屋敷のそのからくりは日本の文化とも言えます。

段差のないフラット空間、バリアフリーが主流ですが、あえて空間に変化をつけ物入れを中二階に作った間取りです。

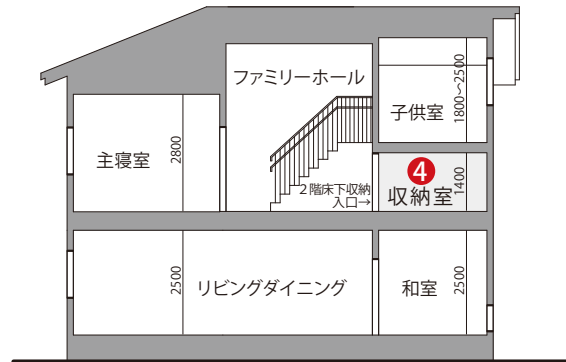


1階



2階

階高を利用して中2階の収納室



断面図

どこの部屋にも物置小屋(ストレージ)。これがサーっと片付く秘訣です。

① シューズイン&ファミリークローク

シューズインは玄関に必要なものが何でもしまえる優れもの。バギーからスキー道具、ゴルフ道具、かさばるものを納められます。それとは別にホールに衣類がしまえるクロークがあるのは便利、季節外のクリーニングからのしまい場所、コート類のしまい場所に。

③ 洗濯機置き場

洗濯機を置く場所は間取りの中では洗面室が定番。でも本当に洗面所?。着替えはどこです。下着はお風呂に入るとき、洋服は寝室?忙しい共稼ぎのお宅なら干す場所の近くにあると便利かも。雨の日も室内に干せるファミリーホールの近くに隠せるランドリーブースを作りましょう。

② キッチン

オープンキッチンは今は間取りとしては常識のプランに。人気の秘密は、広さの限られたLDKでは一体化して広々としてみえる事、暮らしの中で"食を作ること"が表舞台に出てきたこと。食生活の変化など。とはいえごちゃごちゃするのがキッチンまわり、すっきりさせるには何でも詰め込めるユーティリティ(パントリー)必須。

④ 中2階の収納室

大きな床下収納スペース。高さは1メートル40センチ。少し背をかめれば自由に動くことができます。折りたたみはしこのついたロフトよりも断然便利で活用範囲も増えそう。

自分らしい住まいづくりに欠かせない収納のプラン。人にはそれぞれ癖やこだわりがあるもの。この癖や性格、日ごろの動きを振り返り、間取り全体から収納プランを考えることをお勧めします。

住まいの哲学

今回登場はエッセイストのAさん。夜が更けても仕事をすることも多く(いやほとんど夜が更けてから)だから仮眠もしたいと仕事&安眠スペースのリフォーム依頼。10年前のリフォームなのに今も快適に使って下さっているなんてリフォーム冥利に尽きます。

第七回「仕事もはかどる

男の隠れ家」

地

方出身の学生向けに貸していたのではないかと思われた部屋を購入して、仕事部屋にしたのはもう十年以上も前のことになりました。

仕事がしやすいように、また、泊まり込みの仕事もできるように、サンクさんにいろいろ助言をもらいながら、改装しました。おかげで、とても快適な部屋ができあがり、「泊まり込みの仕事もできるように」どころか、すっかり棲みついてしまっているというのが実状です。いまはここが寝起きする場所になっています。

いまでもいちばん気に入っている場所はベッドのあるところです。以前は押し入れになっていたところですが、それを取っ払い、そこにできた窪んだ空間にシングルベッドを置いてもらいました。子ども

の頃、布団のしまつてある押し入れは隠れんぼのときには絶好の隠れ場所になり、隠れているうちに布団の快適さにうっとりしてしまったりしたものです。いま、元押し入れだった場所にあるベッドに横になっていると、そんな遠い思い出までもよみがえってきます。

改装にあたっては、あまりお金がなかったせいもあつて、ゼロからの全面改装というわけにはいかず、元の間取りを発展的に受け継いで(つまり、押し入れや壁のいくつかを撤去して)空間を広げてもらいました。ですから、以前学生が住んでいた頃と比べれば、はるかに開放的な部屋にはなっていますが、しかし、天井を見れば、かつての仕切りの跡はしっかりと残っています。でも、それがまたいいんですね。どこもなく舞台のセットのような雰囲気はただよっています。

改装というと、たいてい頭に浮かぶのは全面改装ですが、元のかたちをうまく生かしながら変えていくやりかたもあるということを、サンクさんから学びました。押し入れの広さはシングルベッドとほぼ同じだったのだと知ったのは、発見でした。

本にかかわる仕事をしているので本がどんどん増えていくのが悩みの種で、サンクさんに工夫してつくっていただいたいろいろなかたちの本棚から、いまや本がはみだしています。断捨離もふくめ、目下、その対策を考えています。

③サンクの くらしのアドバイス

収納バランスについて



すまいの面積に占める収納スペースのバランスはとても大切。

標準的な住宅では、全体の面積の8%が収納スペースの目安とされています。

溢れるモノたちを何とかしようと思えば、収納スペースを増やすことばかり考えがちですが、まずは既存の収納スペース(クロゼット、押し入れ、納戸など)が十分活用されているか確認してみましょう。市販の便利な収納グッズを上手に使うと収納率が上がります。

それでもまだ収納スペースが不足であれば置き家具を考えましょう。壁面収納はおすすめてですが、奥行きは部屋の広さと収納するもののサイズに合わせたバランスで決めることがポイントです。

基本は、適材適所。そして我が家の収納スペースに見合った適量を心掛けてみてはいかがでしょう。

素敵な 生き方



グアテマラで子供たちの支援活動を始めて10年。

白石さんをご紹介します。

青い空の会代表

白石 光代さん

私とグアテマラの出会いは、四年前になる。青年海外協力隊の活動のため、現在住むソロラの農業中学校で花の栽培指導をした。生徒たちは、グアテマラ各地から集まったインディヘナの子どもたち。彼らを通して、またここでの生活の中で、様々なグアテマラを知る機会を得た。

その際、目にしたこの国の現状。学校のある時間に子守をしている女の子。登校する友だちを横目に、父親と畑に行く男の子。「勉強をしたい」ふさがちな瞳で言う子どもたちの言葉に、何度胸がしめつけられたことだろうか。小学校は無料の義務教育。それなのに、学校へ行けない子どもがこんなにいるなんて。なぜだろう。どうにかならないのだろうか。

か？そんな思いをグアテマラに来てくれた妹に話したことが、私たちが展開している子どもたちの就学支援「青い空の会」が生まれるきっかけとなった。

妹が日本で支援者を集めてくれ、私たちがここの先生方と、支援する子どもたち、保護者と話を進めた。二〇〇四年、六人の子どもたちの支援から始まり、今年には五校八十人の子どもたちを支援させて頂いている。

支援がなかったら学校に来られなかった、卒業できなかった子。父親を、母親を亡くした後、支援をうけ経済的な支え以上のもので得ることができた子。学校になじめずにいたが、支援をうけることで自信をつけ、学校代表になった子など、支援をしている子どもの数だけ物語がある。

会の存在活動をアピールし大きくしていけばいい、とアドバイスを頂くことも多い。確かにそうなのだけれど、私たちが目指しているのは、すべての子どもたちの顔が見えることなのだ。泣いているのか笑っているのか、ちゃんと知りたい。そして、支援者の方の声が、子どもたちへ届くこと。どんなに遠くにいても、会ったことがなくとも、自分をいつも応援してくれている人の存在がどれほど子どもたちを支えているか。時に驚くほどである。

二〇〇七年には、小学校を卒業した後、中学校へは進めず、家の仕事をする

しかない女の子たちとの、生活自立支援活動も始まった。

グアテマラを、子どもたちを愛してくださっているたくさんの方々のおかげで、「青い空の会」は十年目を迎えることができる。私たちが年をとっても、現在の思いを大切に続けていくことのできるシステム作りが、今後の課題になっている。

自分の生活を支える観光ガイドをしながらの活動であるため、毎日ハードだが、それ以上のものをみんなからもらっている。

これからも最初の思いを忘れることなく、まわりに感謝しながら、ポコアポコ（スペイン語で少しづつ）進んでいきたい。

イベントのお知らせ

フェアトレードの1日限定ショップと白石さんの講演会を行います

8月8日(木) 10時〜20時
14時から講演会



青い空の会
<http://aoisoranokai.com>
フェアトレードショップセミナー
<http://ameblo.jp/semilla-solola/>



皆様からの感想、投稿もお持ちしています！

生活デザイン設計室 株式会社 サンク 一級建築士事務所

CINQはフランス語で“5”という意味。

1984年に女性5人で設立した建築設計、インテリアデザイン事務所です。

“間取りの住みこころ”をテーマに、個人住宅の設計や新築マンションの企画、住戸の設計、インテリアコーディネート等を数多く手がけ、間取りを変えるマンションのリフォームが得意分野。2010年「くらしのスタジオ」オープン。

書籍:「間取りの読み方・描き方」「住みやすさが続くマンションの間取り」(ともに実業出版社)他

<http://www.cinq-sd.co.jp>

【仕事内容】

- 建替えのトータルな相談
- 戸建て、マンションのリフォーム
- インテリアコーディネート
- グリーンコーディネート



お問い合わせはフリーダイヤルで

0120-72-5039